

## 昭和57年度作況一覧

秋まき小麦	えん麦	大豆	小豆	ばれいしょ	てんさい
不良	やや不良	平年並	平年並	平年並	良

### I. 気象概況

4月から10月までの概況は次のとおりである。

4月：

消雪は平年、気温は下旬がやや高かったが月平均ではほぼ平年並み、降水量は少なく、日照もやや少なかった。

5月：

上旬は高温であったが、中～下旬は平年並み、降水量、日照ともに少なく経過した。

6月：

中旬を中心に晴天に恵まれたが、下旬には台風から変わった低気圧の通過もあり気温はやや低く、降水量、日照はほぼ平年並みであった。

7月：

前半は高気温におおわれて晴天が続き、後半は曇天低温になった。気温は上旬気温が30℃を越す真夏日を記録するなど極めて高かったが、下旬には一転して最低気温16.5℃(平年比-1.7℃)になり変動が大きかった。降水量は中旬に雷雨が合ったほかは少なかった。日照も上旬は多かったが中～下旬は少なかった。

8月：

気温は高く、降水量は少なく、日照はやや少なかった。

9月：

中旬に台風19号から変わった低気圧が通過し荒模様になったが、気温は並～やや高く、降水量は中旬に93.5mmを記録して多く、日照はほぼ平年並みであった。

10月：

高気圧におおわれて温暖な日が多く、気温は上旬を除いて平年より2.0℃以上も高かった。降水量は少なく、日照は平年並みであった。

以上、農耕期間(4月～10月)の積算平均気温は3187.5度で平年(3103.9度)より83.6度高かった。降水量は458mmで平年(706.7mm)より248.7mmも少なく、平年の64.8%に過ぎなかった。日照時間は1147.7時間で平年(1221.4時間)より73.7時間少なかった。全般を通じ、高温、少雨、やや寡照であった。

## II. 昭和57年度の作況

### 1. 秋播小麦 昭和57年度の作況:不良

事由:秋期の生育は播種期の遅れとほ場の多湿により劣って推移した。根雪始は平年より20日早く、11月17日に積雪下となった。このため冬損が多く、雪腐病は紅色雪腐病が多発した。夏期は概して寡雨に経過した。冬損の影響もあり茎数は少なく稈の伸長は抑制され登熟が進んだ。特に7月上旬は降雨が全くなく「タクネコムギ」の成熟期は平年より5日早まった。開花当時(6月中旬)の好天により稔実は比較的好く、また、千粒重は重くなったが穂数が少なく、このため子実重は平年に比べて「ホロシリコムギ」は88%、「タクネコムギ」は86%と低収であった。以上により、昭和57年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次	ホロシリコムギ			タクネコムギ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(昭56.月.日)	9.9	9.12	△3	9.9	9.12	△3	
出穂期(昭57.月.日)	6.15	6.14	1	6.9	6.9	0	
成熟期(昭57.月.日)	7.26	7.27	△1	7.16	7.21	△5	
草丈 (cm)	昭56.10月20日	21.4	18.7	2.7	22.3	23.6	△1.3
	5月20日	35.3	38.9	△3.6	39.0	38.6	0.4
	6月20日	88.2	98.8	△10.6	85.4	91.2	△5.8
茎数 (本/㎡)	5月20日	635	1124	△489	553	855	△302
	6月20日	382	570	△188	433	545	△112
成熟期に おける	稈長(cm)	89	96	△7	83	92	△9
	穂長(cm)	9.0	9.0	0.0	8.5	8.8	0.3
	穂数(本/㎡)	441	599	△158	420	521	△101
子実重(kg/10a)	421	476	△55	352	409	△57	
千粒重(g)	45.2	41.2	4	40.5	36	4.5	
子実重平年対比(%)	88	100	△12	86	100	△14	

注) 平年値は前6か年中、昭和52年を除く5か年平均。ただし、草丈および茎数は前2か年平均。

### 2. えん麦 昭和57年度の作況:やや不良

事由:発芽が良好であり、茎数は平年に比し多く推移したが、6月2半旬より登熟期間は前半に寡雨に経過したため早刈傾向となり稈長は抑制された。また、8月上旬には降雨が全くなく、成熟期は平年に比し8日早かった。しかし、登熟後半の7月中下旬の気温が低く経過し、稔実は比較的好く良好であった。成熟期における稈長は平年に比し短い穂数やや多く千粒重が重い。しかし、穂長の短いことにより子実重は平年比96%となった。以上により、昭和57年度の作況はやや不良である。

品種名 項目/年次	オホーツク			
	本年	平年	比較	
播種期(月.日)	4.30	5.2	△2	
出芽期(月.日)	5.10	5.17	△7	
出穂期(月.日)	7.9	7.12	△3	
成熟期(月.日)	8.8	8.16	△8	
草丈 (cm)	6月20日	42.2	48.7	△6.5
	7月20日	106.0	118.8	△12.8
茎数 (本/50cm畦)	6月20日	77.0	60.1	16.9
	7月20日	49.3	45.4	3.9
成熟期に おける	稈長(cm)	90	104	△14
	穂長(cm)	20.5	22.5	△2.0
	穂数(本/㎡)	715	955	△240
子実重(kg/10a)	343	356	△13	
千粒重(g)	35.1	33.7	1.4	
子実重平年対比(%)	96	100	△4	

注) 平年値は前7か年中、昭和53年、54年を除く5か年平均。

3. 大豆 昭和57年度の作況: 平年並

事由: 播種は平年より2日遅かった。出芽期は6月8日から6月10日で平年より2~3日遅れた。3品種いずれも出芽揃いは良好であった。出芽後6月中旬より8月上旬まで続いた早魃のために初期生育は極めて劣った。したがって主茎長、分枝数は平年より劣った。さらに7月下旬には気温が一次的に低下し、開花が平年に比べて2~3日遅れた。8月中旬より適度の降水量があったことにより生育は回復し、主茎長は「北見白」と「ユウヒメ」は平年並みとなったが、「ユウヅル」は平年に比べて短かった。また、分枝数についても平年に比べてやや劣った。登熟期は全般にやや高温に推移し、降水量もあったために比較的順調であった。9月13日に強風により倒伏したもののその後回復した。

成熟期は「北見白」と「ユウヅル」は1~2日平年より早く「ユウヒメ」は4日遅れた。着莢数はほぼ平年並みであり、百粒重も「北見白」と「ユウヅル」ではほぼ平年並みで「ユウヒメ」は2.8gも多かった。

子実収量は「北見白」が295kg/10aで平年の97.4%であり「ユウヅル」で271kg/10a平年比92.5%、「ユウヒメ」で平年比104.4%の多収となり品種間に差の認められた。

以上により、昭和57年度の作況は品種によって傾向を異にするが、総合的には平年並である。

品種名 項目/年次		北見白			ユウヅル			ユウヒメ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.19	5.17	2	5.19	5.17	2	5.19	5.17	2
出芽期(月.日)		6.8	6.6	2	6.9	6.6	3	6.10	6.7	3
開花期(月.日)		7.24	7.23	1	8.4	8.2	2	7.28	7.26	2
成熟期(月.日)		10.5	10.7	△2	10.16	10.17	△1	10.8	10.4	4
主茎長 (cm)	6月20日	1.6	7.8	3.8	11.0	7.7	3.3	12.9	8.8	4.1
	7月20日	30.5	28.1	2.4	24.1	25.8	△1.7	27.3	27.7	△0.4
	8月20日	52.0	53.4	△1.4	59.2	63.7	△4.5	54.4	51.8	2.6
	9月20日	53.1	52.9	0.2	64.9	66.0	△1.1	58.6	47.7	10.9
	成熟期	52.3	52.0	0.3	65.3	65.8	△0.3	57.8	50.9	6.9
主茎葉数 (葉)	6月20日	1.1	0.6	0.5	1.0	0.6	0.4	0.8	0.7	0.1
	7月20日	7.2	6.9	0.3	6.2	6.7	△0.5	6.4	6.4	0.0
	8月20日	12.7	12.2	0.5	12.2	13.4	△1.2	11.4	10.9	0.5
	9月20日	13.1	13.6	△0.5	14.2	14.9	△0.7	13.5	11.5	2.0
	成熟期	12.5	13.1	△0.6	14.9	15.0	△0.1	13.1	12.5	0.6
分枝数 (本/株)	7月20日	1.6	3.1	△1.5	0.1	1.9	△1.8	1.6	3.2	△1.6
	8月20日	4.6	6.2	△1.6	3.6	5.2	△1.6	4.7	5.9	△1.2
	9月20日	5.2	5.7	△0.5	6.0	4.8	1.2	7.2	5.8	1.4
	成熟期	6.0	5.5	0.5	5.7	4.3	1.4	6.5	5.9	0.6
着莢数 (莢/株)	9月20日	71.0	75.0	△4.0	59.0	55.0	4.0	56.0	48.0	8.0
	成熟期	67.7	69.6	△1.9	52.8	54.0	△1.2	49.5	52.7	△3.2
子実重(kg/10a)		295	303	△8	271	293	△22	285	273	12
百粒重(g)		27.0	26.3	0.7	40.9	40.8	0.1	44.8	42.0	2.8
虫喰率(%)		0.4	0.5	△0.1	0.5	1.5	△1.0	0.2	1.9	△1.7
品質(等級)		2上	2上	—	1下	1下	—	1下	1下	—
子実重平年対比(%)		97	100	△3	93	100	△7	104	100	3

注) 平年値は前7か年中、昭和53年、56年を除く5か年平均。ただし、「ユウヒメ」は前3か年平均。

4. 小豆 昭和57年度の作況: 平年並

事由: 播種期は平年より3日早く、出芽期は2日早かった。6月中旬～7月上旬が旱魃気味であったため初期生育の主茎長は平年よりやや短かったが、主茎節数、分枝数は平年並みであった。その後7月下旬の低湿で開花期は平年より6日遅れ、主茎長の伸長も平年より劣ったが、8月の高温で結莢、粒肥大は概ね順調であった。成熟期は9月11日で平年より2日遅かった。登熟は順調で着莢数は平年並み、粒大は平年よりやや劣るが、子実重は平年並みであった。  
 以上により、昭和57年度の作況は平年並である。

品種名 項目/年次		宝小豆		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.20	5.23	△ 3
出芽期(月.日)		6.15	6.17	△ 2
開花期(月.日)		8. 4	7.29	6
成熟期(月.日)		9.11	9. 9	2
主茎長 (cm)	6月20日	2.0	1.8	0.2
	7月20日	10.4	12.3	△1.9
	8月20日	32.2	37.3	△5.1
	成熟期	33.2	36.1	△2.9
主茎節数 (節)	7月20日	4.9	4.7	0.2
	8月20日	11.6	10.5	1.1
	成熟期	11.5	10.5	1.0
分枝数 (本/株)	7月20日	0.8	0.7	0.1
	8月20日	3.3	2.7	0.6
	成熟期	2.3	2.4	0.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	32.7	32.0	0.7
	成熟期	33.2	32.4	0.8
子実重(kg/10a)		210	213	△ 3
百粒重(g)		10.3	11.1	△0.8
屑粒率(%)		0.9	3.7	△2.8
子実重平年対比(%)		99	100	△ 1

注) 平年値は前7か年中、昭和55年、56年を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 昭和57年度の作況: 平年並

事由: 4月13日に平年より約11日は早く植付けし、その後順調に経過したため、萌芽が早かった。萌芽後6月13日から7月14日まで降水量がなくほ場干ばつ状態に経過したため、開花期は4日早く、茎長は短く、茎数もやや少なかったが、塊茎の肥大がよく、でん粉価も高い傾向が見られた。乾燥気味に経過したことにより疫病の発生がごく少なく、枯凋期は早生の「男爵薯」では10日、中晩生に「農林1号」では9日遅れたが上いも重は平年並みであった。  
 以上により、昭和57年度の作況は平年並である。

品種名 項目/年次		農林1号			男爵薯		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月.日)		4.30	5.12	△12	4.30	5.11	△11
萌芽期(月.日)		6. 1	6. 7	△ 6	6. 3	6. 9	△ 6
開花期(月.日)		7. 3	7. 7	△ 4	7. 4	7. 8	△ 4
枯凋期(月.日)		10. 3	9.24	9	9.14	9. 4	10
茎長 (cm)	6月20日	14.7	17.6	△2.9	14.7	13.9	0.8
	7月20日	40.2	55.5	△15.3	25.7	42.8	△17.1
	8月20日	44.8	74.1	△29.3	30.3	50.1	△19.8
茎数 (本/株)	6月20日	3.1	3.6	△0.5	3.1	3.2	△0.1
	7月20日	3.7	4.4	△0.7	3.1	4.1	△1.0
	8月20日	4.2	4.5	△0.3	3.2	3.8	△0.6
上いも重(kg/10a)		3,636	3,777	△141	3,190	3,098	92
でん粉価(%)		15.6	14.1	1.5	14.7	13.2	1.5
上いも重平年対比(%)		96	100	△ 4	103	100	3

注) 平年値は前7か年中、昭和51年、56年を除く5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

6. てんさい 昭和57年度の作況:良

事由:根雪終は平年並みであったが、4月下旬から5月上旬の天候不順により移植期が若干遅れた。そのため、苗がやや徒長したが、当地特有の強風がなく、活着は極めて良好であった。活着後、生育は一時停滞したが、6月上、中旬の好天により、ほぼ平年並みに回復した。その後は全般に寡雨に経過したため、草丈は平年より低く経過したが、葉数と根周はほぼ平年並みであった。8月下旬から9月にかけての高温で根部の肥大は極めて旺盛となり、根周は平年より良好となり、この状態が収穫期まで続いた。これに対し地上部の草丈は平年より低く、葉数は平年並みの状態が収穫期まで続いた。一方、10月に入ってから気温較差が大きかったため、地上部の退色が極めて順調に進んだ結果、根部の糖分の蓄積は非常に良好であった。以上、本年は全般に寡雨であったため、地上部の生育は平年より劣ったが、根重多収、高糖分であった。以上により、昭和57年度の作況は良である。

品種名(栽培法) 項目/年次		モノドリ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		4.3	4.2	1
移植期(月.日)		5.9	5.7	2
収穫期(月.日)		10.15	10.19	△4
草丈 (cm)	5月20日	4.7	4.9	△0.2
	6月20日	22.6	20.7	2.3
	7月20日	40.2	45.6	△5.4
	8月20日	45.2	52.2	△7.0
	9月20日	46.5	55.6	△9.1
	収穫期	46.3	52.5	△6.2
葉数 (枚)	5月20日	4.0	3.4	0.6
	6月20日	9.8	10.0	△0.2
	7月20日	17.7	18.1	△0.4
	8月20日	24.0	24.1	△0.1
	9月20日	28.9	28.7	0.2
	収穫期	34.9	27.1	7.8
根周 (cm)	7月20日	20.1	20.2	△0.1
	8月20日	29.6	30.0	△0.4
	9月20日	35.9	34.2	1.7
	収穫期	36.6	36.2	0.4
茎葉重(t/10a)		4.00	5.45	△1.45
根重(t/10a)		6.56	5.89	0.67
根中糖分(%)		17.98	16.49	1.49
糖量(t/10a)		1,179	969	210
根重平年対比(%)		111	100	11
根中糖分平年対比(%)		109	100	9

注) 平年値は前5か年平均。